



CAMPUS

Vol. 139

2023 SPRING
奈良工業高等専門学校

令和5年3月発行
〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報センター
TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS 担当)
ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp



卒業・専攻科修了おめでとう!



C contents

巻頭言	02
奈良高専学生アイデアチャレンジ	03
ロボットカーコンテスト 審査員特別賞	
青少年のための科学の祭典2022奈良大会	
Ogaki Mini Maker Faireに参加して	04
卒業・修了予定者 進路状況	
卒業・修了にあたって	05
クラブ・同好会紹介 (テニス部・将棋部)	08

鉄道模型コンテスト ベストクリエイティブ賞・努力賞	
令和4年度 学生表彰者一覧	09
令和4年度 英語学習表彰者一覧	
グローバル活動報告とアフターコロナに向けて	10
STEAM教育を内包する「しなやかエンジニア教育プログラム」	
高専女子フォーラムについて	11
学生支援センターから	

I information

- 全国高専ラグビー大会結果報告
- 全国高専英語プレコンチーム部門優勝!
- 卒業記念品の寄贈
- キャンパスメンバーズ/編集後記



後藤 景子

奈良工業高等専門学校校長

奈良高専校長に就任以来約7年が経過し、いよいよこの春、私も卒業します。CAMPUS巻頭言執筆は4回目です。前3回では大学教員時代の経験と産業の未来を担う高専生に身につけてほしいこと、奈良高専が目指すエンジニア像、そしてコロナ禍での想いを綴りました。withコロナの時代は目の前です。新しい門出を前に、コロナ禍で失ったものを取り戻し、何を目指して日々過ごそうかと考えています。

7年前のある日、女子学生への応援メッセージ「一步前へ」を自ら実践するために、高等専門学校の世界に入ることを決意しました。それ以降、高専校長以外にも女性初としていろいろな経験をさせていただきました。高専機構の学生支援担当理事を4年間務め、高専生の就学、学生生活、メンタル、キャリアなどの支援について様々な計画立案・実施をしました。また、高専の体育大会やコンテスト系大会を主催し、高専生に活躍の場を提供している高専連合会の会長を3年間務めました。コロナ禍で大会の開催時期や実施形式の変更を余儀なくされましたが、本年度は3年ぶりに例年通りの開催となり、無事見届けることができました。最後の2年間は文部科学省関係の審議会委員を務め、幼児教育から大学院教育までのあり方、方向性、具体的施策などを考える機会をいただいたことは貴重な経験でした。女性であるが故にいただいた機会ですが、女性だからできることもできないこともないことがよくわかりました。男女問わず多様な人々が協働する参画社会の実現を願っております。

これまで学生の皆さんにお伝えしたいことは、入学式や卒業式の式辞、全校集会などでお話してきました。その機会は本年度限りですので、これまでのお話しを中心に整理させていただき、未来に繋げたいと思います。

「和の心を大切に」

新産業を牽引するエンジニアとして、「アイデアをカタチにする」を大切に、チャレンジ精神を持ち続けてください。真のエンジニアリーダーには専門の知識・技術のみならず、文化的な素養を含めた幅広い視野や豊かな人間性が必要です。なぜなら、仲間との協働が新たな価値を創造するからです。最も大切なコミュニケーションスキルは人間力、つまり心そのものであるということを忘れないでください。日本には和の心という文化があります。世界の仲間と協働するときもこの心を伝えてほしいと願っています。

「倫理観にもとづく行動を」

皆さんがエンジニアとして活躍している間にも科学技術がどんどん進化し、人の能力を超える技術の限界点まで突き進むことは確実です。人間がつくるものは人間が主体的に利用するためのものであり、便利で親切な道具の域を超えてはならないと思っております。科学技術は人を幸せにするためにあり、それを生み出す技術者や研究者の倫理観が極めて重要です。チャレンジ精神とともに倫理観を持ち続けてほしいと思います。

「個性を大切に、そしてさらに磨きを」

私はときどき山に登ります。山に入れば全ての人が平等で、自分の身体と心だけが頼りです。天候や体調を冷静に判断し、身体をコントロールしながら最後まで安全に降りることが課されています。心身を鍛え直すよい機会です。山の魅力は一つとして同じ山がないことです。同じ山でも見る角度によって姿が異なります。どの山に登っても、その山の持つ素晴らしさに出会い、感動させられます。人も同じだと思います。一人一人が素晴らしい個性を持っていて、お互いになくはならない存在です。自信を持って自分の人生を歩んでください。

「感謝の心を大切に」

人は一人では生きられません。周りの人や社会制度など数々の支えがあるから、豊かな人生を享受できるのです。受けた恩に対して感謝の心を持ってください。感謝の心を持つことは自分自身のためです。なぜなら感謝は人を心穏やかにするからです。受けた恩に感謝し、時代を超えた繋がりとして新たな人や社会に恩を送ってください。

以上が、皆さんへのメッセージです。人と向き合う、自分と向き合うことで、他者との関係性を大切に、信頼されるエンジニアリーダーになって下さい。奈良高専と奈良高専卒業生をいつまでも応援しています。



奈良高専学生アイデアチャレンジは実践能力や課題解決能力を高めて成長してもらうことを目的に、学生自らが掲げた目標を主体的に実施する計画を支援する仕組みで、奈良高専同窓会のご支援によって運営しています。本取り組みは令和2、3年度はコロナ禍のため実施できませんでしたが、3年ぶりに再開することができました。学生（グループでも可）は「挑戦的取り組み」「学校環境の改善」「広報のアイデア」の3つのエントリー部門から1つを選び、自分たちが取り組みたいプロジェクトを提案します。今年度は6月に提案された7つのプロジェクトから5つが採択され、活動資金10万円の補助を受けて2月の成果報告会まで様々な活動を実施していました。採択プロジェクトはコンテストへの応募や寮学生向けの生活支援アプリの開発、高専祭や学会イベントでの広報など様々です。今回惜しくも採択に至らなかったプロジェクトについても興味深いアイデアであり、さらなる改善を加えた再チャレンジを期待しています。次年度以降も実施する予定ですので、チャレンジのアイデアのある学生はぜひ応募してください。

■採択されたプロジェクト（申請順）

GPS・QZSSロボットカー製作

電子制御工学科2年 神元 詞結、馬場 光希

メニューちゃんアプリ化と学寮食堂の環境改善への活用

情報工学科2年 奥田 祥太

GoGo,LaQ鹿!

システム創成工学専攻 新田 鉄朗、宇野 耀、出山 敬太郎、
機械制御システムコース1年 中山 和紀、林 航平

奈良から世界へ!! box cartプロジェクト!!

電子制御工学科5年 品山 奏太、加藤 天輝、仁木 竣平、
原 幸平
他1名

マグネシウムで作るソーラーラジコンカー

機械工学科3年 宮本 博司、鎌谷 恵衣、水田 来悟、
溝上 穹

ロボットカーコンテスト 審査員特別賞（学生チャレンジプロジェクト）

電子制御工学科2年 神元 詞結

私は「GNSS・QZSSロボットカーコンテスト」に出場してきました。測位航法学会が主催する、GPS、QZSS（みちびき）などの衛星測位による自律制御（プログラミングでの制御）ロボットの世界大会です。競技内容は20m離れた2つのパイロンを8の時に周回し、その間に幅1mのパイロン間を通過すると「REIWAポイント」が獲得でき、得点が高くなります。また、競技終了時にスタート地点から2m以内に停止すると「ボーナスポイント」が獲得できます。

今回、私は初参加でしたが、安定して「REIWAポイント」を獲得できたことや、「ボーナスポイント」を獲得する際にスタート地点のちょうど真上で停止した正確性が評価され、審査員特別賞を受賞しました。また他チームのロボットの動

きが速かったり、私とは違う制御の方法を採っていたりして非常に勉強になりました。最後になりましたが、学生チャレンジプロジェクトとして採択いただきましたことに感謝申し上げますとともに、プロジェクト関係の教職員の方々、指導教員として協力いただきました先生方にお礼申し上げます。



青少年のための科学の祭典 2022 奈良大会

機械工学科1年 加藤 良太・末永 小夏

私たちは11月12日に奈良教育大学で開催された、「青少年のための科学の祭典 2022 奈良大会」にて「3次元お絵かき入門!!!」というブースの運営補助をしました。このブースで私たちは学生スタッフとして、幼児から中学生までの方に「SOLIDWORKS Apps for Kids」という3DCADを教えながら、自分だけのサンタクロースや車を作ってサイコロ型のペーパークラフトにして遊んでもらうという企画を行いました。これまで私たちは先生方に教えていただく側だったので、「他人に、自分の持っている知識を教える。」ということとはとても難しいことだと思っていました。しかし、イベント当日、私たちは「自分たちよりも年下の相手は、どのように教えてもらったらわかりやすいか」などをしっかり考え、3DCADを教えることができました。体験後、「楽しかった!」と言って笑顔で帰ってくれた方が多かったのがとても嬉しく、自信につながりました。いつもと違う、教える立場に立てたことで新たな視点を得ることができ、充実した時間を過ごせました。



Ogaki Mini Maker Faireに参加して

電気工学科5年 山口 奏人

私は12月3日、4日に岐阜県大垣市のソフトピアジャパンセンタービルにて開催された「Ogaki Mini Maker Faire 2022」に参加しました。このイベントはDIYに興味のある人々が電子工作、クラフト、ロボティクス、アートなどの様々な分野で製作したものを展示し、共有するイベントです。

会場では1/1サイズのプラモデルやテスラコイル楽器、自作のチップマウンタなどのDIY興味深い作品が展示されており製作者の方々に直接構造やプログラムについてのお話を伺うことができお互いに有意義な情報交換を行うことが出来ました。

私は卒業研究で製作した眼球ロボットを展示し、イベントの参加者の方々に体験していただきました。様々な角度や専

門知識からのアドバイスを頂くことができ、卒業研究にとっても役立てることが出来ました。全く初めての方々に卒業研究の目的を理解してもらうことができ、大変嬉しかったです。高専門のイベントとは違った観点や作品を見ることで見識が広まったと思います。



卒業・修了予定者 進路状況 (令和5年1月31日現在)

令和4年度 第5学年卒業見込者 大学編入学等進学状況

区分	大学名・学部名	人数
国立大学	大阪大学	工学部 3
		基礎工学部 1
	神戸大学	工学部 2
	北海道大学	工学部 1
		理学部 1
	弘前大学	理工学部 1
	東北大学	工学部 1
	筑波大学	理工学群 1
		情報学群 1
	千葉大学	工学部 1
	金沢大学	理工学域 1
	福井大学	工学部 3
	三重大学	工学部 2
	京都工芸繊維大学	工芸科学部 3
	奈良女子大学	理学部 1
	鳥取大学	農学部 1
	島根大学	総合理工学部 1
	岡山大学	理学部 1
	徳島大学	理工学部 2
	九州工業大学	工学部 1
佐賀大学	理工学部 1	
琉球大学	工学部 1	
長岡技術科学大学	工学部 6	
豊橋技術科学大学	工学部 5	
小計		42
公立大学	東京都立大学	都市環境学部 1
	大阪公立大学	工学部 11
	小計	
私立大学	同志社大学	理工学部 1
		生命医科学部 1
	立命館大学	理工学部 5
	龍谷大学	国際学部 1
	大阪経済法科大学	経営学部 1
小計		9
高専専攻科	奈良工業高等専門学校	専攻科 40
	舞鶴工業高等専門学校	専攻科 1
	都城工業高等専門学校	専攻科 1
	大阪公立大学工業高等専門学校	専攻科 1
	小計	
合計		106

令和4年度 専攻科修了予定者 大学院合格状況

大学院名	研究科名	人数
奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	12
大阪大学大学院	工学研究科	5
京都大学大学院	工学研究科	1
京都大学大学院	人間・環境学研究科	2
東北大学大学院	工学研究科	1
岡山大学大学院	自然科学研究科	1
筑波大学大学院	生命地球科学研究群	1
九州大学大学院	理学府	1
合計		24

令和4年度 第5学年 卒業予定者 就職内定状況

企業名	人数	企業名	人数
アークレイ (株)	1	DMG森精機 (株)	1
(株) アイ・エス・ビー	1	寺崎電気産業 (株)	1
アイフォーコム (株)	1	テルモ (株)	2
(株) アビリカ	1	東京ガス (株)	1
アマゾンジャパン (同)	1	東和薬品工業 (株)	1
eBASE (株)	1	トーテックアメニティ (株)	1
岩谷瓦斯 (株)	1	(株) ドコモCS関西	1
NECネットエスアイ (株)	1	(株) NAITO	1
大阪ガス (株)	2	ニプロ (株)	1
オートテックジャパン (株)	1	日本貨物鉄道 (株) 関西支社	1
カネカ (株)	1	日本触媒 (株)	1
キャノンマーケティングジャパン (株)	1	日本電気計器検定所 関西支社	1
キャノンメディカルシステムズ (株)	1	(株) Burley plus	1
牛乳石鹼共進社 (株)	1	パナソニック インダストリー (株)	1
京セラ (株)	1	パナソニック コネクタ (株)	1
(株) クボタ	1	P&Gジャパン (株)	1
(株) KSF	1	(株) ファインディックス	1
(独) 国立印刷局	1	(株) FIXER	1
(株) 小松製作所	1	丸善石油化学 (株)	1
佐藤薬品工業 (株)	1	マルホ (株)	1
沢井製薬 (株)	1	三菱電機ビルソリューションズ (株)	1
サントリースピリッツ (株)	1	村田機械 (株)	1
(株) シーアールイー	1	(株) 村田製作所	1
(株) 品川工業所	1	(株) 森田製作所	1
島津プレジジョンテクノロジー (株)	1	森永乳業 (株) 神戸工場	1
ジャパン マリンユナイテッド (株)	1	山崎製パン (株)	1
全星薬品工業 (株)	1	ヤンマーホールディングス (株)	1
ダイキン工業 (株)	1	(株) ユーテック	1
太陽ファルマテック (株)	1	雪印メグミルク (株)	1
中部電力 (株)	1	理研ビタミン (株)	1
千代田化工建設 (株)	1	合計	63

令和4年度 専攻科修了予定者 就職内定状況

会社名	人数	会社名	人数
オーツエイド(株)	1	ダイダ(株)	1
ファナック(株)	1	豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 研究員	1
(同) 日本テキサスインスツルメンツ	1	ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーション(株)	1
オムロン(株)	1	(株)ハイマックス	1
大阪ガス(株)	1	eBASE(株)	1
ジョンソンコントロールズ(株)	1	(株) テイジエール	1
中西金属工業(株)	1	(株) KMS	1
(株) イトーキ	1	(株) 呉竹	1
ダイキン工業(株)	1	日東電工(株)	2
東京ロボティクス(株)	1	合計	22
アイテック阪急阪神(株)	1		
パナソニック(株) くらしアプライアンス社	1		



卒業おめでとう

機械工学科5年 谷山 勇士朗

思えば、この5年間はとても充実したものでした。はじめのころは人見知りなのもあり緊張していましたが、みんな気さくに話しかけてくれたためすぐに弛緩しました。同じ地域に住んでいる人をただ集めた小中学校とは違い、ここは自分で選んだ学校であるためか気の合う級友も多く、まして5年間もともにしているのも皆ととても仲良くなりました。1、2年生のときは工場見学や、通常通りの高専祭も経験できました。特に高専祭では初めて模擬店で食べ物を出したり、軽音部のライブを観たりとたくさん思い出ができました。3年生からはオンライン開催でしたが、クラスメイトの家でまったり配信を観るのもまた良いものでした。また、勉学、とりわけ定期試験やレポート課題ではままたまならないことが多々ありましたが、皆で協力し、助けってもらいながらなんとか5年生までくることができました。担任して下さった先生方や授業をもっていただいた先生方にはたくさん苦勞をかけたクラスでしたが、5年間



5年生スポーツ大会

指導してくださり、誠にありがとうございました。そしてクラスの皆、仲良くしてくれてありがとう。これから私たちはそれぞれの道を歩んでいくこととなりますが、成人としての自覚を持ち、奈良高専の卒業生として恥じぬ人間になれたらと思います。



2年生高専祭

機械工学科5年学級担任 酒井 史敏

ご卒業おめでとうございます。皆さんは高専での5年間のうち、後半の3年間に新型コロナウイルスの影響を受けて過ぎてきました。多くの活動が制限され、悔しい思いや納得できないこともたくさんあったと思います。そのような中でも皆さんは学び、成長し続け卒業を迎えられたことをうれしく思います。しかし、成長した皆さんの（マスクを取った）顔を見ることができなかったことは残念です（身上調書に貼られた高専入学時の写真でしか皆さんの顔を知りません...）。変化の激しい社会ですが、これまでの経験を大切に、これから進むそれぞれの道で活躍することを願っています。

電気工学科5年 川崎 一輝

知っている人が誰もいない不安な気持ちで、奈良高専の門をくぐってから、5年の月日が経ちました。入学時に配られた時間割表にあった「専門科目」、これを見て、高専に入ったという自覚が沸いたことを覚えています。

この5年間、沢山の思い出がありました。クラスメイトは静かな人が多かったのですが、自分のことをコツコツと



2年生最終日

頑張っている人が多く、僕も頑張らなきゃという気持ちになり、いい影響を受けました。また、「1年生初めてのスポーツ大会で優勝したこと」、「みんなで吉野を歩いたこと」など楽しい時間を過ごすことができました。

3年生の時から、新型コロナウイルスが流行しました。オンライン授業で学校にも行けず、先生やクラスメイトとの距離も遠く感じ、実験も動画だったので、感覚がつかめず、レポートの考察にとっても苦勞したのを覚えています。いざ、オンラインから対面になっても、課外活動などに制限がかかり、時間が止まったような感じでした。しかし、そんな中でも、高専祭の電気科展の展示や、電気科の広報動画を作ったことなど、みんなで協力してひとつのものを作るという経験ができて本当に良かったです。

最後になりますが、クラブ活動や卒業研究、勉強、進路など様々な面で支えて下さった先生方、5年間の月日と一緒に過ごしたクラスメイトの皆さん、本当にありがとうございました。

電気工学科5年学級担任 石飛 学

卒業おめでとう！ みんなが高専に入ってきたとき、まだ少しおぼこくて、私も初めての1年担任に毎日ドキドキだったけど、みんながいつも助けてくれて...とても懐かしいです。“思い通りにいかない世の中の荒海でも、波乗りして楽しめるくらい大きな人になってほしい”と初っぱなに話しました。外の世界へ出る前に予想もなかったコロナの荒波にもまれ、大変だったけど乗り越えてきたね。この数年で社会が大きく変わったけど、変革期ほどエンジニアの出番だよ！ みんなと同じ時が過ぎてよかったです。たくましくなったみんなに期待しています。



5年生スポーツ大会



電子制御工学科5年 品山 奏太

思い返せば、あっという間の5年間でした。3年生前期からは新型コロナウイルスの影響を大きく受け、プラスの面でもマイナスの面でも今まで経験したことのない学生生活だったと思います。不慣れな遠隔授業で勉学に励んだり、工場見学、スポーツ大会や高専祭などの学校行事が軒並み中止となり、楽しみが減ったりと、コロナ禍での新しいライフスタイルの中で生活する上で様々な苦労がありました。そんな中でも、コロナ禍以降開催されたスポーツ大会はすべて優勝、大きなトラブルもなく、普段から仲の良い、笑いの絶えないクラスだったと思います。このクラスで新型コロナウイルスの影響なくいろんなイベントを過ごせたら、と悔やまれる部分もありますが、私たちがもっと年を取った時にみんなで「こんなこともあったな～」と笑い話にできるなら、これもまた思い出かと思えます。

最後になりますが、この5年間は、奈良高専に携わるすべての教職員の方々、支えてくれた家族、しんどいことも共に乗り越えた友達がいてこそ、過ごせたものだったと思います。



5年生秋季スポーツ大会 優勝!

この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。

それぞれの進路に進んでも、またみんなで集まれることを楽しみにしています。



5年生桜の下で集合写真

電子制御工学科5年学級担任 玉木 隆幸

ご卒業おめでとうございます。奈良高専で過ごした5年間は、青春真っ只中にある皆さんにとって、短いようで、激動の、そして、濃い時間であったように思います。とくに、新型コロナウイルスの影響により、3年生では、登校できない日々が続き、楽しみにしていた学校行事も中止となりました。一方で、コロナ禍にあっても、一致団結し、新たなことに挑戦するという皆さんの強さを見ることができました。奈良高専での経験と、頼れる友人・知人とともに、夢と希望をもって、諦めず、何よりも健康に気を遣って、今後でも活躍されることを期待しています。

情報工学科5年 谷口 翔寿人

色々な出来事で埋め尽くされた5年間は過ぎていくのが一瞬でした。ちょっと前に学生服に身を包み奈良高専に入学したかと思えば、気づけばもう卒業です。

高専に入学すると思っていた5倍ぐらいはキツイことが多かったです。年に4回ある広範囲で教科数の多いテスト、深夜まで苦しんだ実験レポート、そして何よりも流行病による制限された生活と、5年間で様々なものに苦しめられました。

しかし、そんな大変な環境で乗り越えられたのはクラスメイトのおかげだと思います。特に5年間大きな喧嘩もなく、毎日大声で笑いあった仲間たちは高校や大学生活では得られないかけがえのない友達です。

「こう思ってるんだけど」と意見を言うと賛否関係なく真剣に討論してくれたり、「こういうことをしたい」と言うと笑もせず、頷いてサポートしてくれたからこそ、5年間で様々なことに挑戦して成長できたと思っています。



卒研発表での1、2年担任岩田先生との真実

クラスメイトの皆さんには本当に感謝しています。5年間本当にありがとう!!!

最後になりますが、5年間成長を見守ってくださった情報工学科の先生方をはじめとした教職員の皆様、大変お世話になりました。本当にありがとうございました!!!



卒研発表日の卒業写真

情報工学科5年担任 山口 智浩

「先生お久しぶりです!」数年前の担任クラスだった卒業生のS君だった。「苦しくてやめそうになった時に、先生の励ましのおかげで頑張ることができました。」夕暮れの駅前でしばし近況を彼と交わしたことを思い出した。卒業は人生の次のステージの出発点。これまで苦労ばかりで楽しい思い出のない時期や、努力が無駄に思えたことも、後に振り返れば良い経験となり得ます。自力では解決できないと思う時に、一歩退いて自らを俯瞰し、過去の困難に出会って立ち向かった時の経験を思い出して頂ければ幸いです。ご卒業おめでとうございます。



物質化学工学科5年 竹中 実夢

私にとっての奈良高専での5年間はとても短く感じました。鮮明に覚えているわけではありませんが、まだ入学式がそう遠くない過去のように見え、当時15歳だったのが20歳になりもう卒業する日を迎えるということに驚いています。

高専での生活は、高校生の頭には処理しきれない内容の授業や、習っていない範囲からレポートを書かなければいけない実験など、大変なことばかりでした。しかし、就職活動が容易に終わったことも、研究を無事終えることができたのも今ではこのおかげだと思っています。

心残りは、コロナ禍により5年間の一部が失われたことです。他より厳しい本校の規制によって尽く中止されてしまいましたが、私が一番力を入れていた定期演奏会やその他の高専祭など、これらの学校行事は私たちが主体となって行う時期でした。これらを仕方のないことだと諦め、考えないようにすることに時間を要した人は、私を含め多くいたかと思います。

いいことばかりではありませんでしたが、高専での5年



5年生スポーツ大会

間は私にとって、とてもいい思い出です。これらの思い出は私一人で作れるものではなく、数々の友人、先生方がいたこそのもです。5年間を通して私に関わってくださった方々に感謝したいと思います。



5年生スポーツ大会

物質化学工学科5年学級担任 宇田 亮子

ご卒業おめでとうございます。5年間長かったですね。それとも短かったと思うでしょうか。人によって感じ方は様々で、長いか短いかには正解はありません。更に、当たり前だと自分は思っている、他者にはそうでないことが往々にしてあります。例えば私は、科学的な根拠をもとに判断したいと思う方ですが、世の人皆が科学的に考えたいわけではありません。また、どんなにあいつの事はわかると思っても、完全に他者を理解するのは不可能なのです（ガンダムのニュータイプでもない限り）。わかりあえなさを抱えた他者とどう協働するか、さあ皆さんの新しい生活が始まります。

専攻科修了おめでとう

システム創成工学専攻 機械制御システムコース2年 松本 暖樹

7年間に亘る奈良高専での生活はあっという間に過ぎていきました。一般的な学生は高校・大学と大きく環境が変化している中で、果たして自分は7年間分も成長できたのかと疑問に思うときもあります。しかし、本科・専攻科で学んだ幅広い専門知識、異分野の学生と交流した経験は今後の人生で大いに役立ってくれると思います。最後に、ご指導くださった先生方、個性豊かな友達、支えてくれた家族に感謝します。本当にありがとうございました。

システム創成工学専攻 電気電子システムコース2年 吉村 勇人

私の高専生活を振り返ると本科のときは、勉強そっこのけで部活動に熱中でき、5年生で研究の楽しさを感じ、専攻科で更に知識を深め、同時に研究の難しさをと面白さを体感することができました。こんな経験は、先に多くの経験を積み、道を示してくださった先輩のおかげであり、縦の繋がりが長い高専でしか得られないものだと思います。

他にはない素敵な環境を用意してくださった、事務の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

システム創成工学専攻 情報システムコース2年 上野 達也

専攻科にはものづくりの上流工程である「システム設計」を学ぶための特殊なカリキュラムがあります。また国内外問わず研究成果を発表する機会があり、私自身も研究会での発表や論文誌への投稿に挑戦しました。専攻科以外の進路では得られなかった経験だと思っています。

7年という長い期間を奈良高専で過ごしましたが、まだここにいたいと思えるほど日々の学びが新鮮でした。特に専攻科の2年間は、これまでの私の人生で最も成長できた期間でした。学生の皆様、支えてくださった先生方、ありがとうございました。



2年生秋季学外研修

物質創成工学専攻2年 太田 ひかる

奈良高専で過ごした7年間はあっという間で、私をとっても成長させてくれたかけがえのない時間でした。特に専攻科での2年間は、将来像が明確になる人生の分岐点となりました。

研究活動での挫折など苦しい経験もありましたが、いつも沢山の人に支えられ、友達と共に励まし合ってきました。高専生活で培った経験は、必ずこれからの人生に活かせると思います。最後になりましたが、いつも温かくご指導くださった先生方、本当にありがとうございました。

専攻科長からお祝いメッセージ

専攻科長 中村 秀美

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。この2年間は、新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮しながら、学校生活、研究を進めることになりました。その厳しい道のりを乗り越えてきたことに対して敬意を表したいと思います。これからの皆さんは、世界の急速な変化を見定め、その価値を見極める『心の眼』をもつことが必要です。すなわち、ものごとを自ら判断するうえで、皆さんの心に確かな判断基準を備えておくことです。どんな状況にあっても、「何が大事で何が大事でないか」というしっかり見分ける眼力を身に付けて、これからも夢に向かってチャレンジし続けてください。皆さんの頑張りに期待しています。





クラブ・同好会紹介



vol.27

体育部		文化部	同好会
アーチェリー	ソフトテニス	からくり	化学同好会
合気道	卓球	機械研究会	合唱同好会
弓道	バスケットボール	軽音楽	クイズ研究会
剣道	バドミントン	茶道	現代視覚文化研究会
テニス	ハンドボール	システム開発研究会	手芸同好会
硬式野球	バレーボール	将棋	生協学生同好会
サッカー	ラグビーフットボール	情報処理研究会	数学同好会
柔道	陸上競技	吹奏楽	電気技術研究会
少林寺拳法		美術	
水泳		放送	



テニス部

機械工学科3年 宇野 暁斗

僕たち硬式テニス部は、毎年、7月に開催される「高専体育近畿地区団体優勝」を目標に「テニス部に、奈良高専に、地域に」貢献できるような部を目指しています。

テニス競技は、各試合に審判がつかずプレイヤーが審判を兼ねる「セルフジャッジ」が適応されていることが多いため、スポーツマンシップが培えます。スポーツマンシップは、プレイヤー・仲間に対する尊重、決断・行動・挑戦する勇氣、勝利を目指し全力でする覚悟の3つの要素を指し、この考え方は、日常生活でも応用でき、日々の生活が豊かになります。

また、部活動ではヨコだけでなくタテとの関係が築けるというメリットがあり、自分が所属している学科の先輩にレポート課題やテストなどの勉強面でアドバイスしてもらえます。

活動日は月火木金土の5日で部活動、学校生活、勉強とメリハリを大切に、文武両道に励んでいます。テニス部で充実した学校生活を過ごしませんか？



将棋部

機械工学科2年 矢部 亨

こんにちは、奈良高専将棋部です。将棋部は生協購買の上にある和室において、週2回活動しています。話をしながらゆっくりと対局をしたり、時計を使って本格的な勝負をしたりと楽しく活動しています。主な活動内容は和室での対局ですが、全国高専将棋大会や高校竜王戦、奈良県で行われる最強者決定戦などの大会にも参加しています。高専祭においても部員が作成した詰将棋の展示などもしています。将棋と聞くと難しそうで近寄りたがいイメージがあると思いますが、簡単にいえばオセロと同じボードゲームです。自分も含め入部時には将棋の知識が全くなかった人が大勢いるので、初心者でも安心して始めることができます。他の部活との兼部も可能なので気軽に見学に来てください。

鉄道模型コンテスト ベストクリエイティブ賞・努力賞

電子制御工学科3年 西村 崇一郎

我々機械研究会は2022年8月19(金)～21(日)に、東京都新宿区の住友ビルにて開催された「第14回全国高等学校鉄道模型コンテスト」に作品を出品し、モジュール部門で「ベストクリエイティブ賞」を、HO車両部門で「努力賞」を受賞しました。

モジュール部門は私をリーダーとし、北部の天橋立・伊根をモデルにして、伝統的な舟屋や、特徴的な天橋立の砂州や松林、著名な由良川橋梁、リフトや飛龍観回廊などを再現しました。一方、HO車両部門は3Sの中村君と3Mの加藤君をリーダーとし、JR奈良線で運行されてきた、「103系」を制作しました。

昨年もコロナ渦のため活動が制限されるなどありましたが、数々の支援・協力をしてくださった顧問の先生方や、先輩方には本当に感謝の言葉しかありません。そして、ここまで一緒についてきてくれた部員一同の皆さん、素晴らしい活

躍でした。後輩の皆さんには、来年度に今回の作品を上回る物を作り上げることに期待しています。





令和4年度 学生表彰者



優秀賞 在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。

特別賞イ 在学期間中、全国高専大会に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。なお、コロナ禍により中止となった令和2年度全国高専体育大会等に出場見込みであった者について、特例措置として、全国高専大会やそれに準じる大会に2回以上出場した者のうち、顧問や指導教員からそれらの大会に出場できたと推薦があった者も対象となります。

特別賞ロ 全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。

特別賞ハ ロに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。

特別賞ニ 学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。

専攻科研究優秀賞 専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。

優秀賞 (12名)

機械工学科5年	近藤 将好	中山 暁登	
電気工学科5年	井上 水輝	頭鬼 峻真	
電子制御工学科5年	天野 晃汰	荒深 健伍	ADRIAN WEE YIAN KIAT (アドリアン)
情報工学科5年	島 千晴	信宮 真威	YAHYA ZAIDAN (ザイダン)
物質化学工学科5年	浅香 輝拓	縄手 祥希	

特別賞イ (14名)

機械工学科5年	市原 爽	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会	第49・50・51・52回 優勝、第53回 出場
	大串 蓮	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会	第49・50・51・52回 優勝、第53回 出場
	佐藤 優輔	学生会活動 功労 (学生会長1期, 副会長1期)	
	清水 健輔	全国高等専門学校弓道大会	第6・8回 出場
	面前 太郎	全国高等専門学校体育大会 水泳競技	第53・54回 出場
電気工学科5年	川東 拓真	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会	第49・50・51・52回 優勝、第53回 出場
	辻井 信平	全国高等専門学校体育大会 ハンドボール競技	第54・56・57回 出場
電子制御工学科5年	迫 雅悦	全国高等専門学校将棋大会	第28・29回 出場
	笹原 大雅	全国高等専門学校将棋大会	第28・29回 出場
情報工学科5年	渡邊 幹	全国高等専門学校弓道大会	第6・8回 出場
物質化学工学科5年	篠原 悠希	全国高等専門学校体育大会 ハンドボール競技	第54・56・57回 出場
	縄手 祥希	全国高等専門学校体育大会 水泳競技	第53・54回 出場
	山口 叶夢	全国高等専門学校体育大会 陸上競技	第54・56・57回 出場
	渡邊 昌隆	全国高等専門学校将棋大会	第24・25・26・28・29回 出場

特別賞ロ (11名)

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2022 全国大会 優勝 (8名)	電子制御工学科4年	松永 奏良
	電子制御工学科3年	末廣 健悟、當麻 颯太、永田 大実、 速水 鴻
	情報工学科3年	吉田 彩人
	電子制御工学科2年	安藤 耕太郎
	情報工学科2年	竹内 将也
第16回全国高等専門学校 英語プレゼンテーションコンテスト チーム部門 優勝 (3名)	機械工学科2年	小原 みなも
	電気工学科2年	岡野 響
	情報工学科2年	升岡 瑞葉

専攻科研究優秀賞 (5名)

システム創成工学専攻機械制御システムコース	坊村 竜
システム創成工学専攻機械制御システムコース	中西 優真
システム創成工学専攻電気電子システムコース	増田 樹
システム創成工学専攻情報システムコース	村本 幸次郎
物質創成工学専攻	安藤 うた



令和4年度 英語学習表彰者



英語学習表彰制度

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。令和4年度は計25名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞 本科生・専攻科生のうちTOEICスコア735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞 本科生・専攻科生のうちTOEICスコア605点以上または英検2級に合格した者

英語学習優秀賞 (11名)

電子制御工学科3年	紅野 稷太郎
電子制御工学科4年	(氏名非公表)
情報工学科4年	石村 涼介
情報工学科4年	岸本 千波矢
物質化学工学科4年	宮崎 侖多
物質化学工学科4年	(氏名非公表)
機械工学科5年	小川 ジャンカルロ
電子制御工学科5年	笹原 大雅
情報工学科5年	谷奥 稔
情報工学科5年	徳舛 迪也
システム創成工学専攻 情報システムコース1年	衛藤 優

英語学習奨励賞 (14名)

電気工学科1年	坂本 直仁
電子制御工学科1年	中山 洲里
情報工学科1年	辻中 日菜
情報工学科1年	吉見 武
機械工学科2年	小原 みなも
電気工学科3年	前田 稀央
物質化学工学科3年	奥村 大地
電気工学科4年	鈴木 誠二郎
電気工学科4年	橋本 大希
電気工学科4年	畑佐 優心
情報工学科4年	竹田 岳人
電気工学科5年	川崎 一輝
電子制御工学科5年	北野 優香
システム創成工学専攻 機械制御システムコース1年	森本 奏多



2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、奈良高専でも毎年実施してきた国際交流が中断するなど、グローバルセンターの活動にも影響が出ました。コロナ渦で活動が制限される中でも、グローバルセンターではオンラインで協定校との国際交流イベントを実施するなど様々な取り組みを行ってきました。2022年度は、日本の水際対策が大幅に緩和され、本校でも3月22～29日にかけてシンガポールNYPからの受け入れ事業を再開することになりました。

また、今年度は奈良県の留学生地域受け入れ支援事業も3年ぶりに再開しています。11月13日（日）に実施されたイベントには、本校に在籍する留学生2名も参加しており、フォレストパーク神野山や石上神宮を巡ったり、柿の葉寿司作りを体験しました。さらに、12月8日（木）に開催された第22回外国人留学生スピーチ大会には、本校の5Mリズワンさんが出場されました。パワーリフティングの選手としての自身の経験と、本校での学校生活で感じたことを交えて、精神力の重要性についてスピーチされました。留学生地域受け入れ支援事業は、留学生が地域文化に触れるだけでなく、県内の大学に所属する外国人留学生と親睦を深める良い機会となります。今後も積極的に留学生の交流イベントに参加しても

らいたいと思います。

5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行するなど、今後はアフターコロナに向けて動き出すことになりそうです。本校でも香港やシンガポールの協定校への海外派遣について検討しています。他にも、夏季・春季休業期間を中心にグローバル関連イベントが実施される予定です。国際交流や海外留学に関心がある学生はぜひ参加して下さい。



STEAM教育を内包する 「しなやかエンジニア教育プログラム」 ～工学と異分野からの学びの融合～

女性エンジニア養成推進センター
副センター長 顯谷 智也子

「しなやかエンジニア教育プログラム」は、奈良高専の特徴的な教育プログラムとして2019年度より開始され、現在、学年・学科を超えて総勢80名に近い学生が受講しています。

本教育プログラムでは、工学とは異なる分野の学びを通して物事を様々な角度から捉え、新たな価値を創造するための「感性」と、それを形にする「表現力」を養います。加えて、昨今注目を集めている「STEAM教育」(Science、Technology、Engineering、Art、Mathematicsの5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念)を内包する教育プログラムとして、急速な社会変化に伴う多様なニーズや課題に対し、文理融合の中で幅広い知識と柔軟な発想力で課題解決に挑む力を涵養します。

授業では、毎回分野ごとに専門の大学の先生や企業の方々を講師としてお招きし、伝統文化や心理学などの講義、またプロダクトデザインや陶芸などのワークショップを実施しています。

本教育プログラムでの異分野の学びと工学教育で培われる理論に基づく実践力を融合することで、社会・生活と技術をつなぎ人々の生活に新たな顧客体験を創出できる人材が育つものと確信しております。

本教育プログラムを受講している本科生の声を紹介します。



物質化学工学科3年 寺田 歩生

筋肉は裏切らないと言いますが、同じように知識も裏切りません。ただし偏った知識は我々を容易に裏切ります。高専での勉強で知識が偏るということはないにしても、知識は広く持つておくほうが得なのです。「しなやか」は、とにかく色々なことを広く知りたいという方にピッタリだと感じます。講義はグラフィック・レコーディングから由緒正しき仏教芸術、講師の方も新進気鋭のデザイナーから社会で活躍する元高専生と、とにかく様々。目指せまず、一歩前を行く高専生。

電気工学科3年 後守 永遠

様々な分野の講義、そして個性豊かな講師の先生方の経験や考え方に触れることでこれまでとは違う視点で物事を捉えることができるようになりました。今まで興味を持ってこなかった分野でも、話を聞いてみると思わぬ発見があり知識の幅が広がったので、日常生活でも新たな気付きを生むきっかけになりました。今後も更に感性を磨き、幅広い分野に精通した技術と発想力で勝負できるエンジニアリーダーを目指したいです。



高専女子フォーラムについて

情報工学科1年 辻中 日菜

私は高専女子フォーラムに参加し、女子中学生とその保護者、企業の方に向けて、「しなやかエンジニア教育プログラム」と「GECEP」の活動内容とこれらのプログラムを通してどのように成長できたのかについて発表しました。ポスター作成やプレゼンの練習を友達や先輩としていくうちに、自分に欠けているスキルがみつき、今後のやるべきことをみつけるいい機会になりました。また、他高専の女子学生や企業の方の感想やアドバイスを聞くことで、自分が受けているプログラムのよさを確認でき、とても良い経験になりました。

企業の方のお話を聞くことで、エンジニアがどのように活躍しているのかを具体的に知ることができてよかったです。参加した得た経験を生かせるように、今後いろいろなことに挑戦したいです。



情報工学科2年 升岡 瑞葉

私たちは、中学生とその保護者、企業の方に「情報系高専生の生活と、がんばっていること」をポスター発表しました。

専門科目の授業紹介、主に行った実験や参加したコンテストなど、私たちの日々の取り組みについて紹介しました。

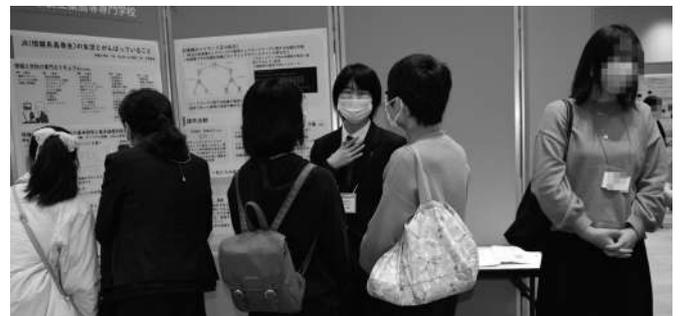
発表内容を作成するにあたり、授業内容をまとめることで、日々の振り返りを行うことができました。

さらに、企業の方から、発表や日々の取り組みに関して、アドバイス、お褒めの言葉を頂き、今後のモチベーションに繋がりました。

他高専の学生からは、授業内容について共感してもらえ、話が盛り上がりました。

また、企業の方の発表では、女性が働きやすい職場づくりについてお話を伺うことができました。

様々な質問にも、お答え頂き、今後に繋がるとても有意義な時間になり、とても楽しかったです。



学生支援センターから

カウンセラーだよ

ストレスとの付き合い方

カウンセラー（臨床心理士） 弓場 文代

現代社会はストレスフルだと言われて久しいですね。ストレスは皆さんにふりかかる様々な刺激から生じてきます。沢山の情報に殆どすぐに触れられるようになった現代社会は刺激が非常に多く、残念ながらストレスも多くなっているといえます。自分に合うストレス対処法を見つけることは、現在社会を生きるうえでとても大切なスキルの1つといえるのではないかと思います。

深呼吸をするとストレスが緩和されリラックスできるといわれています。その理由は、深呼吸することによって自分の呼吸に意識が向き、周囲の刺激やストレスから意識を離すことができるからです。すぐに効果を感じない場合もありますが、深呼吸のリラックス効果は高いとされています。とても手軽な対処法ですので、ストレスを感じた時には取り入れていただければと思います。自分に合うストレス対処法を探すためにカウンセリングを利用するという方法もありますので、お知りおきくださいね。



スクールソーシャルワーカーだよ

学生支援ルーム スタッフ紹介

スクールソーシャルワーカー（社会福祉士・公認心理師） 佐々木 理恵

学生支援ルームが総合情報棟に開室されて、2年目になりました。支援ルームを利用してくださる学生の方も増えつつあります。学校生活の中にホッとできる場所をとという思いで開室しています。スタッフは2名いて、私は月曜日と木曜日担当で、もう1名のスタッフは月曜日から水曜日担当の学生課の桑原さんです。事務職を経験してきた方なので、私とは違う視点でいろいろと話を聞く事ができます。高専での勤務の経験も豊富なので、奈良高専の事をいろいろと聞く事もできます。

普段、学校で会う先生や友達たちとは違う人と会ったり、話したりする事で今までと違う見え方や考え方に会えるかもしれません。もちろんお話をしなくても大丈夫です。くつろぐ場所としても学生支援ルームをご利用ください。お待ちしております。



近畿高専ラグビーフットボール大会優勝！ そして、全国高専ラグビーフットボール 大会出場！

物質化学工学科4年 勝真 海音

ラグビー部は、4年連続9回目の近畿地区大会優勝を果たし、全国大会に出場することになりました。年末年始と練習を重ね、全国大会へと挑みます。この期間の練習は、激しさで、肉体的にも精神的にも限界へと追い込まれます。しかし、そうした練習を通して、仲間との絆や、お互いを思いやる心が育まれ、全国大会で戦うチームへと変化していくように感じています。

第53回全国高専ラグビーフットボール大会では、初戦となる2回戦で仙台高専（名取）と対戦しました。思うように試合のペースを掴めず、自分たちの力を発揮できない試合展開が続きました。前半を7対5で折り返し、後半も14対10のスコアの時間帯が続きました。しかし、残り3分となったところで逆転を許してしまいました。残されたわずかな時間を懸命に攻め立て、何とか逆転をと奮闘しましたが、無情にもノーサイドの笛を聞くことになりました。

最高学年である5年生は、見えない敵と戦い続けた1年間でした。その大きさを、この試合から思い知らされたように思います。素晴らしい5年生でした。最大限の賛辞と感謝を送りたいです。そして、多くの方々の支えにより、ラグビー部の活動を続けることができています。新チームの練習は翌日から始まりました。またチーム一丸となって這い上がります。応援よろしくをお願いします。



キャンパスメンバーズ制度 是非ご活用ください

本校では、奈良国立博物館との連携による「キャンパスメンバーズ制度」を導入しています。

学校と国立博物館が連携を図ることによって、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供すること、世界遺産や美術に親しむ機会を増やすことで、より豊かな教養と感性を身につけていただくことを目的としています。

本校学生・教職員が学生証・職員証を提示することで、以下の特典を受けることができますので、是非この制度をご活用ください。

主な特典

- 平常展・特別陳列の無料観覧
- 特別展の観覧料金割引 など

特別陳列「お水取り」

会期:令和5年(2023)2月4日(土)~3月19日(日)
※本イベントについては学生及び教職員は無料で観覧できます。

第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト出場！チーム部門で優勝！

チーム部門	機械工学科2年 小原 みなも
	電気工学科2年 岡野 響
	情報工学科2年 升岡 瑞葉
シングル部門	電気工学科2年 星野 百奈

私たちは、第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストに参加し、チーム部門で第1位、シングル部門で第4位となりました。このコンテストでは、テーマに沿った英語のプレゼンテーションを、チームでは10分間、シングルでは5分間行い、その後、審査員の先生方との質疑応答を行います。

チーム部門では、「Preparing for a Disaster」をテーマに発表しました。私たちは、メンバーが話していることに相槌を入れることとジェスチャーをつけることを大切にしました。恥ずかしい気持ちを振り切って全力で発表したおかげで、笑ってほしいポイントで観客の方が笑ってくれたり、私たちもリラックスして楽しんで発表することができました。また、質疑応答は、質問内容が難しく苦しりましたが、3人で連携してなんとか答えることが出来ました。

シングル部門のタイトルは「Pets are our family!」で、近年問題になっている犬猫をはじめとした動物の殺処分の問題について取り上げました。発表にあたって一番大切にすることは、いかに自分の伝えたいことを審査員含めて観客のみなさんに分かってもらうかでした。そのために、表情や声の調子、アイコンタクトなどをしっかり行いました。その努力が功を奏したのか、審査員の方々からは表情や自信を褒めていただきました。私たちは今回大会で得た大きな自信を胸にこれからも努力していきたいと思っています。



卒業記念品の寄贈

令和4年度卒業生の皆さんから卒業記念品として「一体型ベンチテーブルおよびベンチ」を寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



編集後記

卒業生および修生のみなさん、おめでとうございます。今回のCAMPUSでも、多くの卒業生・修生・在校生の活動を取り上げることができました。就職・進学と進む道はそれぞれですが、新天地でも奈良高専の卒業生として活躍いただけることを期待しています。

CAMPUS について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ>学生生活>CAMPUS(広報誌))にも掲載しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。